

春
休
み
前



美園小だより

令和8年3月26日
さいたま市立美園小学校
第190号児童数 1043名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

第14回卒業証書授与式

校長 河野 秀樹



<6年生を送る会>

本日、令和7年度の修了式が行われました。6年生はいませんでしたが、きれいな歌声は引き継がれ体育館に響き渡っていました。

過日「6年生を送る会」が行われました。5年生代表の平田さんは、6年生が運動会で見せてくれた最高学年としての姿に感動し、委員会活動で学校がよりよくなるためにたくさん提案し、考えをまとめて引っ張ってくれたことに感謝していました。そして、「新時代へ羽ばたく背中にYELLを送ろう」というメッセージを送っていました。6年生代表の富岡さんは、友達や教職員、地域の方々が笑顔になって学校が明るくなることを願っていました。そして、「進んで挨拶しよう」という思いを込めて作ったタスキを渡してくれました。最後に私の話の中で、全校児童で「美園チャチャチャ」をし、笑顔でお別れをしました。

3月24日（火）に、第14回卒業証書授与式が行われました。

私は式辞の中で、ミラノ・コルティナオリンピックで活躍した平野歩夢選手を紹介しました。彼は4歳でスノーボードを始め、小学校の卒業アルバムには、将来スノーボードで世界一になると書いていました。15歳という若さで初めてオリンピックに出場し、3大会連続でメダルを取りました。今回もメダルを目指し努力を続けてきましたが、オリンピックの1か月前に競技中転倒し大けがをしましてしまいました。前回金メダルを取っても次を目指したいという気持ちと、負けず嫌いな性格が原動力となり、痛み止めを飲みながら果敢に挑戦していました。メダルこそ逃した平野選手ですが、「生きるか死ぬかという覚悟の中で、今の自分の全力と向き合い、チャレンジすることができた。この経験はこれから先につながる」「たくさんのお支えや、自分を本気にさせてくれた周りの選手たちに感謝しかない」と語っていました。私は、卒業する6年生には、将来なりたい自分を目指すとき、失敗や挫折を味わったとしても「チャレンジを続けていけば、いつか必ず自分にとって価値あるものにたどり着けることを信じて前進してほしい」ということを伝えました。

式次第にある「巣立ちの言葉」の中で、5年生はリードしてくれた6年生のバトンをしっかり引き継いで、美園小を創っていくと力強く語っていました。新しい美園小を引っ張っていく意気込みを感じることができ、嬉しく思いました。6年生は今まで身に付けた力を中学校でも発揮していくこと、仲間と助け合って前向きに頑張ること、夢と希望に向かって進んでいくことを誓っていました。そして最後に「旅立ちの日に」「校歌」をしっかりと歌い上げ、たくさんのお拍手の中で巣立っていきました。

教職員の見送りの後は、校庭で互いに別れを惜しみながら、PTAが用意してくださった看板やバルーンアートの前などで友達や家族と記念写真を撮っていました。

保護者の皆様、地域の皆様には、一年間本校の教育活動への御理解、御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。子どもたちには、健康や安全に留意して、4月からの新たなステージに向けてよいスタートを切ってほしいと願っております。